

校 報	<b>誕生寺NOW!</b>	<b>岡山県立誕生寺支援学校</b>
		学校URL <a href="http://www.tanjoji.okayama-c.ed.jp/">http://www.tanjoji.okayama-c.ed.jp/</a>



## 子ども達の「幸福度」

校長 山岡 格史

今年の夏はとても暑い日が続きましたが、季節も移ろい朝夕は冷え込み「寒さ」を感じるようになりました。年々残暑が厳しくなり、私の大好きな「秋」が短くなっているように感じています。

さて、先日ラジオから「幸福度」という言葉が聞こえてきました。幸福度というのは経済や健康など様々な要素の中で自分がどれくらい「幸福だ!」と感じているかという極めて主観的なものであるということだそうです。では自分の幸福度は?とか家族は?とか、色々と思いを馳せました。ここでは本校の子ども達の幸福度について考えてみたこととお知らせしたいと思います。

まず、子ども達の「幸福度」に大きく関係しているのが自己肯定感というものであるのではないのでしょうか。これは子ども達が自分自身のことを大切に思い、もっと良くなりたいと思ひ努力することであり、重要なことであると思います。何かの課題を努力で乗り越え、充実した生活を送ることで「これでいい」と思える機会をより多く体験することがそういった感情をより高めていくのだと思います。また、自己肯定感とともに重要なのが、「自分はまわりの役に立っている」ということを感じる自己有用感であると考えます。苦手なことでも、まわりの協力で役割を果たすことで自信につながり、それが自己有用感を高めていくのであると思います。

そして自己肯定感や自己有用感を高めるためには、出来たことをしっかりと褒めることが大切だと考えます。子どもの努力を評価するということです。もちろん、ただ褒めるのではなく「どういう点が、どのように良かったのか」について、しっかりと意味付けや価値付けをした上で「がんばったね」と褒めることが重要です。

これから学校では「みんなの作品展」「久米南絆まつり」など大きな行事があります。これらの行事はもちろん日々の学習の中で子ども達の活動に対して出来たことをしっかりと褒めることをしながら、子ども達の「幸福度」が上がるような取組を進めていきたいと思ひます。



## 今月の進路情報について

### 「現場実習と保護者の協力」

先月に引き続き、現場実習についてです。

高等部の「秋の現場実習」が、ほぼ終わりました。この期間には保護者の方にはいろいろとご協力、ありがとうございました。

実際に実習中、保護者の方にどのようなことをしていただいたか紹介します。

- ・福祉事業所までの保護者送迎
- ・休日を使っての通勤練習
- ・事前の面接と打ち合わせの出席
- ・初日や最終日の反省会の出席
- ・実習日誌の記入
- ・家庭での健康管理 　　　　　　などです。

本人が頑張るのはもちろんですが、保護者の協力は欠かせません。

実習を含め、進路決定に向けては、「本人の気持ち」「保護者の気持ち」「学校など周囲の支援者の気持ち」があって、進んでいきます。今後ともご協力、よろしくお願ひします。

## サテライト美咲(A中学部)

A中学部2、3年生が、美咲町役場のバス停留所で4日間限定の移動アンテナショップ「サテライト美咲」をオープンしました。

4日間で約400名のお客様においでいただき、行列ができる大盛況となりました。生徒たちも笑顔で接客をしたり、元気よく挨拶をしたりするなど生き生きと活動する姿が見られました。とても貴重な経験をすることができました。

